

— 市民がつくる市民のための地域環境情報誌 —

# エコライフみしま

知っていますか？



市の鳥「カワセミ」



市の木「イチョウ」



市の花「三島桜」

未来へつなぐ 環境先進都市・三島  
みんまで育て



第 2 9 号

2017/5/1

- 特集「三島の歴史を伝える樹木」・・・P2、P3
- 環境活動紹介(三島市ストップ温暖化推進協議会の環境活動)・・・P4

## 三島の歴史を伝える樹木



公孫樹碑

若人の学ひの道に  
立ち並び朝に夕へに  
見守るはいちようの老樹  
緑濃き樹かけを歩み  
金色の落葉を踏み  
往きかよう道のかなたに  
空高く不二は輝く  
幸あれや若き人びと  
光あれ明日の世界に



クイズ:北中学校正門にある「公孫樹碑」(上の写真)に刻まれたメッセージはどなたが書いたものでしょうか？

～答えはP3へ～

# 三島の歴史を伝える樹木

## 文教町 イチヨウ並木

文教町の学園通りには600mに亘り、東側に太いイチヨウの木が45本、西側に細いイチヨウの木が72本、東西合わせて117本が植えられており、このイチヨウ並木は三島の景観重要樹木に指定されています。

このイチヨウは、野戦重砲兵連隊がこの地に進出してきたのを記念し、大正10（1921）年3月に在郷軍人会が植樹したと言われており、また、「『三島竹枝』詳解」には大正末頃裾野の八木茂作さんがご子息の第二連隊除隊を記念して植えたとの記述もあります。

市制30周年記念に市民から「市の木」を募集し、応募者の意向を参考にしながらイチヨウに決定されました。北中学校正門には小出正吾さんの若人に向けたメッセーヂが彫られた公孫樹碑（表紙参照）が建てられています。

## 国道一号線 初音松並木

国道一号線（旧東海道）の箱根への登り口付近から900mほど

に亘って両側に松並木があります。松並木は江戸幕府の五街道整備で約400年前に川原ヶ谷から山中城下の富士見平まで植えられていましたが、第二次世界大戦末期に軍用のために大部分が切られてしまい、この初音松並木が三島市内では旧東海道の松並木として唯一残っているものです。当時厳しい旅を続ける旅人達を、雨風や日差しから守り憩う所として植えられたといわれています。

初音松並木は、ボランティアの方々の清掃活動や毎年のこも巻き作業などによって保護されています。一昨年は害虫が大量発生し葉を食い荒らされてしまい、一部が枯れだしているそうです。この異常事態をなんとか乗り越え、貴重な松並木の景観を次世代に残していきたいですね。



こもが巻かれたようす

樹木は、地球温暖化が進む原因となる大気中の二酸化炭素を吸収する性質があり、地球温暖化を防止する役割を担っています。エコライフみしま第29号では、環境の改善に働きかけ、心の拠り所ともなる三島の樹木について特集しました。

## 錦田一里塚 エノキ

慶長9（1604）年江戸幕府は東海道をはじめ主要街道に木を植えるなどして、街道を整備しました。その一環として、日本橋から京都三条大橋までの間に、1里（約4km）ごとの道路の両側に直径約10mの円形の塚を築き、風雨に強いエノキや松などを植えて一里塚と称しました。

一里塚は大名の参勤交代や旅人の道程の目安、馬や籠の賃金の目安、旅人の憩いの場等、多方面に活用されていました。

三島市にある錦田一里塚は、エノキが植えられ、塚が道路両側に向かい合って一対あり、保存状態も良いことから、国の史跡に指定されています。

一里塚の本来の姿は街道の両側



上り車線側

に对で設置されるのですが、現存する一里塚の多くは道の片側のみ存在していることが多いため、



側 両側に塚が現存するのは、全国でも希少です。

なお、東海道のうち、三島から箱根峠を越えて小田原に至る山道を箱根旧街道といいますが、この箱根旧街道には、錦田の他に笹原、山中、畑宿の3カ所に一里塚が残っています。

旧街道の史跡を訪ねながら、歴史散歩はいかがでしょう？

## 三嶋曆師の館

### タイサンボク

三嶋大社の東側の、さほど広くない静かな住宅街の道路に面した一角に「三嶋曆師の館」があります。落ち着いた雰囲気のある門を入ると正面に玄関があり、その右手前に緑の庭が広がり、庭の中心には

## みどりの贈りもの

～出産・新築等記念樹を無償配布～

**対象** 出生・入学(小学校)・結婚・新築・住宅の購入

**樹種** ミシマザクラ・イチョウ・キンモクセイ・サザンカ・タイサンボク・モッコク・ハナミズキ・オリーブ・シマトネリコ

※新生児一人・入学(小学校)一人・結婚一組・新築一戸・住宅購入一戸に、それぞれ1本配布

**苗木の配布** 下記の場所で苗木を引渡しします。

※引換券が必要です。

**場所** みどり育苗センター(初音台24-13)

**配付時期・時間** 3～7月・10～11月(祝祭日を除く毎週水曜日)  
午前10時～午後3時

みどりの贈りもののお問い合わせは  
三島市水と緑の課 ☎983・2643

昨年(2016年)の最終配付日の11月30日(水)、みどり育苗センターに取材しましたが、30代の男性・女性それぞれ1名の方が見えませんでした。男性の方は“おしゃれ感覚で”ということでおリーブをご出生の記念樹として、女性の方は“食用にもなる”ということでおリーブをご出生の記念樹として苗木を受け取っておられました。お二人の笑顔、そしてみどり育苗センターの方の優しい笑顔での対応が印象に残りました。みどりの贈りものの現在の人気ベスト3は、ハナミズキ、オリーブ、キンモクセイとのことです。



表紙のクイズの答え：小出正吾さん

小出正吾さんは三島市出身の児童文学者で、野間児童文芸賞を受賞した「ジンの音」等三島を題材にした作品を多く残しました。



庭の中央にあるタイサンボク

見上げるような大きな木がどっしりと存在感を示しています。これが今回紹介するタイサンボクです。

タイサンボクは明治6(1873)年に渡来したとされ、明治12(1879)年に来日したアメリカ第18代大統領グラント夫妻によって、上野公園に記念植樹されて有名になったと言われています。なぜ三島にタイサンボクがあるのでしょうか？

グラント氏はアメリカ南北戦争北軍の将軍で、もともと有名な將軍の一人でした。大統領職二期目終了後、家族と共に世界各国を旅行し、明治12年6月には国賓として日本を訪れました。

グラント氏は大変な人気で、日本各地で歓迎の行事が催され、多くの場所で歓迎会や記念植樹が行われ、三島でも歓迎会を開催しました。

上野公園の記念植樹では、将軍がローソンヒノキを、そして夫人がタイサンボクを植えたのですが、今三島に植えられているタイサンボクもその折に用意されたものの一本だと言われ、これは現在も三嶋曆を守り続けている河合家が祖母から伝え聞いているとのことです。各地で植えられた記念樹は枯れてしまったり樹勢が弱った

第二次世界大戦終了後(昭和25年頃)、国立遺伝学研究所の設置が決まり、旧中島飛行機製作所の敷地に(谷田交差点から遺伝

### 国立遺伝学研究所前 桜並木



初夏には大きな白い花を咲かせます

り、中には既に姿を消してしまつたものもあるようですが、三嶋曆師の館のタイサンボクは元気に成長しており、初夏の頃にはかぐわしい香りを放つ白い大輪の花を見事に咲かせて、訪れる人々を楽しませてくれるそうです。

学研究所前まで)ソメイヨシノが植えられ、現在約125本あります。桜の寿命は約60年と言われ、立ち枯れたり、切り倒されたりしていますが、オオシマザクラやヤマザクラに植え替えられ、現在に至っています。

例年4月の第一土曜日(今年(2017年)は第二土曜日)には、遺伝学研究所も解放され広く地元へ愛されています。「市の花」であるミシマザクラは、遺伝学研究所の竹中要博士によつて発見されました。



開花時期のようす

## 三島市ストップ温暖化 推進協議会の活動紹介

### 体験型ワークショップの開催

自転車発電  
体験やソー  
ラークッカー  
作り、間伐材  
を用いた木工  
教室、廃食用  
油を使った  
キャンドルや  
石けん作りな  
ど、様々な体  
験型のワーク  
ショップを通  
して、大人  
から子どもま  
で、幅広い世  
代を対象とし  
た地球温暖化  
防止活動の啓  
発をしています。



自転車発電体験

### ライトダウン！ キャンドルナイトみしま

12月の地球温暖化防止月間に開催しているキャンドルナイトみしまでは、会場を飾るキャンドルの一部を幼稚園・保育園の園児や保護者の方と一緒に作成したり、地元の団体や大学生によるライブ演奏、家庭・店舗によるイベント時間中のライトダウンなど、多くの団体と連携して開催しています。昨年は家庭54件、

三島市ストップ温暖化推進協議会は、家庭や事業所で取り組める地球温暖化対策について、その普及啓発を行うことを目的に設立されたボランティア団体です。

商店・企業99件にご協力をいただき、ペットボトル2万本の二酸化炭素を削減できまし



キャンドルナイトみしま

### 自治会や企業等への講師派遣

地球温暖化問題についての最新情報や、家庭や学校、職場で気軽に取組める温暖化対策の出前講座を開催し、環境意識の向上を図ります。自治会・町内会などのほか、企業や学校からも依頼を受けて出前講座を開催しています。出前講座の依頼は、実施日の一カ月前に、下記の環境政策課までお申込みください。



企業への出前講座

### 低炭素杯2017 優秀賞受賞！

低炭素杯は、全国の地球温暖化防止に関する活動の表彰と、その優れた取り組みのノウハウや情報を共有し、更なる活動への連携や意欲を創出するために開催されています。第7回となる今年は、2月16日に東京で開催され、全国951団体の応募の中から厳正な審査を経て、ファイナリストとして選ばれた26団体が、地球温暖化に挑む多彩な取り組みを発表しました。

当市で活躍する三島市ストップ温暖化推進協議会は、1年を通して行っているバラエティ豊かな活動を発表し、優秀賞を受賞、記念トロフィーをいただきました。



発表の様子

三島市ストップ温暖化推進協議会では、地球温暖化防止の活動と一緒に取り組んでもらえるメンバーを募集しています。ご興味のある方は下記、環境政策課までお問い合わせください。

### 【編集後記】

私たち夫婦の結婚記念樹は父と母から贈られた「キンカン」です。冬には枝にたわわに実り、ウグイスも楽しめます。ひとつひとつの実には私たち夫婦にとって、♪あんなこと こんなこと あったでしょう♪のおもいでのアルバムです。キンカンの花言葉は「思い出・感謝」。人とのかわりの思い出を大事に、感謝を忘れずに日々を努めているところです。庭にはキンカンの他にイロハモミジ、ウメ、ナンテン、ブナ、マキ等の樹木があり、ささやかですが、CO<sub>2</sub>の削減を心がけている次第です。(き)

### 編集スタッフ（市民ボランティア）

青木博・飯田喜一・岩田明彦・大村洋子・近藤裕美・柴原俊介  
鈴木祥子・羽田妙子・堀江紗代

### 第29号（5月・10月の年2回発行）

平成29年5月1日発行

〒411-0858 静岡県三島市中央町 5-5

三島市役所中央町別館

環境政策課内

「エコライフみしま」編集事務局

TEL:055-983-2647 FAX:055-976-8728

E-mail:kankyuu@city.mishima.shizuoka.jp

エコライフみしまは再生紙を使用して発行しています。  
エコライフみしまも再生可能な資源古紙です。